

始まる研究生生活に捧げるひそかな目標

動物応用科学科3年野呂ほづみ

初めてのオブザベーション、最近身の回りで起きたことを書こうと思ったものの、大会シーズン真ただ中なので、私の生活は弓道(部活)で時間も頭の中もかなりの割合を占められていた。

ここで私が、選手として大会に出ることの意味や求められているもの、理想とする選手のあるべき姿や部員への思いに関して綴るのも気が引けるので、弓道の話を書くのは控えておこう

そうすると、考えても先輩方のような興味深い話は浮かばなかった。もがいた揚句、私の部屋はなぜ足の踏み場がないのかについて書くことにした。

私の部屋は基本的に物であふれている。写真に撮って人に見せてみると「汚い」と言われる。

あくまでも散らかっているのがあって「汚いもの」で溢れているのではない。床に溢れている服は洗濯し干し終わった服だし、上着とは区別している。

そもそも、散らかっているように見えて自分には各カテゴリーに分けられて見えている。だから、少しでも配置が換わると「あ

れ？」と気付くのである。

プリント類も、裏紙用と授業プリント類に区別して置いてあるものが崩れて汚く見えている。きっと春の金華山から帰ってきて放置しているスーツケースとその中身も汚く見える原因なのだろう...

外での生活が忙しくなればなるほど部屋は物で溢れてゆく。

まさに今、この大会シーズンは私の部屋の散らかり具合は右肩上がりなのである。

研究室で机が与えられ、隣の一席の空席が私にはありがたい。

これから始まる研究室生活、引き出しから虫がわいたり、クモが巣を張ったりしないよう、これまでの失敗を生かして清潔な2年間を過ごしたいと思う。

私がひそかに思う、研究室での目標であった。